

平成30年度市町村経済統計の概要

経済成長率は18市町村でプラスとなり、市部計は6年連続、郡部計は4年連続のプラス成長となった。

郡部では中土佐町の庁舎等高台移転や大豊町の豪雨被害による高知自動車道復旧工事などの建設業が牽引し、市部では製造業のほか、保健衛生・社会事業等によりプラスとなった。

1 高知県経済の動向

雇用環境は、有効求人倍率が高い水準で推移するなど、引き続き雇用環境が順調に改善する中、自然災害による影響がみられた産業もあった。

農業では、次世代型ハウスや環境制御技術の普及は進んだが、天候不順や平成30年7月豪雨の影響により、安芸市や四万十町等においてナスやショウガの生産量が減少したほか、米の生産量も減少した。

林業は、県内の大型製材工場は順調に稼働したが、平成30年7月豪雨の影響で県外の製材工場が稼働できなかつたため、県外需要が減少した。

水産業は、海面養殖業では大月町や宿毛市でクロマグロやマダイ等が増加する一方で、漁船漁業では宿毛市や黒潮町等でカツオ類やサバ類等の漁獲量は増加したものの、単価の高いマグロ類の漁獲量が減少した。

製造品出荷額等は、生産用機械が企業の設備投資やインフラ工事関連の需要増などにより増加し、食料品も既存事業所の堅調な伸びに加え、新たな食品加工工場の本格稼働等により増加した。また、不織布を用いた美容用品の需要増によりパルプ・紙なども増加したことで、前年比+2.3%の5,945億円となった。

県内の公共投資は、高知南国道路の延伸工事や高知市役所新庁舎整備等が行われ、引き続き高水準にあるものの、新図書館等複合施設（オーテピア）や坂本龍馬記念館などの整備終了に伴い、前年度比では減少となった。

観光では、「志国高知 幕末維新博」などの効果で県外観光客入込数は過去最高の441万2千人と推計され、6年連続で400万人を超えた半面、県外観光客の総消費額は高水準ながらも自然災害の影響等で前年をわずかに下回った。

こうした中で、日銀高知支店は、県内景気の総括評価を、年間を通して「回復している」として維持した。

2 市町村内総生産

(1) 市部と郡部

市部は高知市で66億円（対前年度比▲0.6%）の減となったが、南国市の68億円（同+3.5%）の増等により、4億円増の2兆453億円（同+0.0%）と6年連続のプラス成長となった。郡部も中土佐町の44億円（同+29.1%）の増等により、49億円増の3,737億円（同+1.3%）と4年連続のプラス成長となった。経済活動別では、市部は製造業が、郡部は建設業が寄与した。

(2) 市町村別

市町村別にみると、プラス成長は、建設業の増加が寄与した中土佐町（同+29.1%）及び大豊町（同+10.3%）、水産業の増加が寄与した大月町（同+9.1%）など、18市町村（対前年度▲2団体）となっている。

一方、マイナス成長は、建設業の減少が寄与した土佐市（対前年度比▲6.5%）、東洋町（同▲6.3%）及び黒潮町（同▲5.6%）など、16市町村（対前年度+2団体）となっている。

(3) 総生産の構成比

市町村ごとに産業別構成比の1位を見ると製造業及び建設業が各9団体、次いで保健衛生・社会事業が8団体、農業及び水産業が各2団体、鉱業、電気・ガス・水道・廃棄物処理業、卸売・小売業及び公務が各1団体となっている。

産業別に、総生産が県内1位の市町村を見ると、林業は四万十町、水産業は宿毛市、鉱業は仁淀川町、他の産業はすべて高知市となっている。

(4) 主要指標

	30年度	29年度
① 市町村内総生産額と経済成長率	2兆4,190億円 (+0.2%)	2兆4,137億円 (+0.5%)
② 市部・郡部別の総生産額と経済成長率	市部 2兆453億円 (+0.0%) 郡部 3,737億円 (+1.3%)	市部 2兆449億円 (+0.5%) 郡部 3,688億円 (+0.2%)
③ 市部・郡部別の総生産額の構成比	市部 84.6% 郡部 15.4%	市部 84.7% 郡部 15.3%
④ 総生産額が1,000億円を超える市町村	高知市 1兆1,898億円 (▲0.6%) (※県内総生産の49.2%) 南国市 1,986億円 (+3.5%) 四万十市 1,148億円 (+0.5%)	高知市 1兆1,964億円 (▲0.5%) (※県内総生産の49.6%) 南国市 1,919億円 (▲2.6%) 四万十市 1,142億円 (+0.8%)

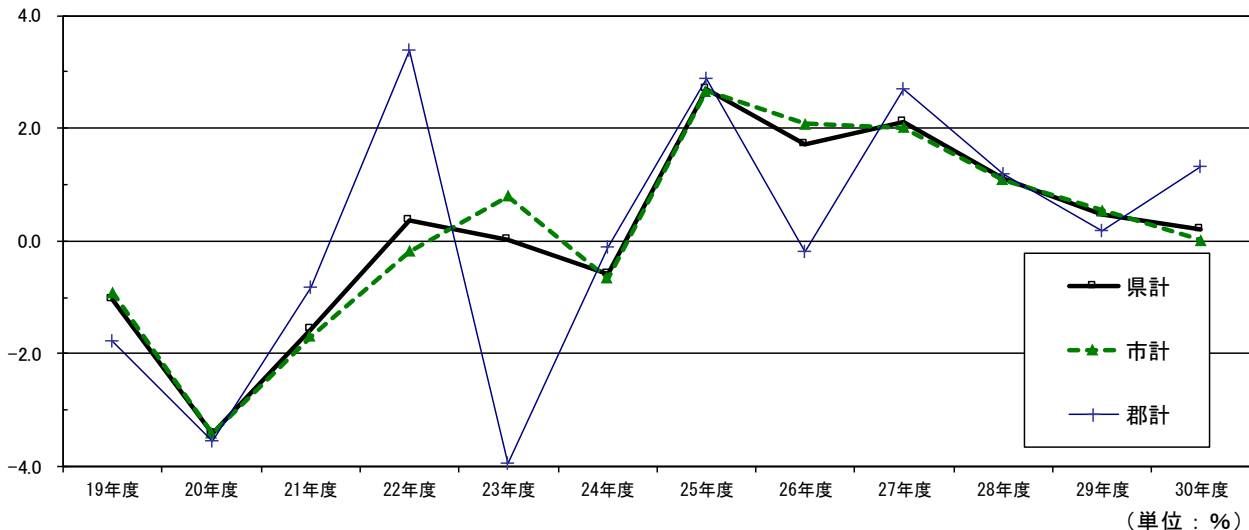
経済成長率のプラス・マイナス別市町村数

	30年度	29年度
プラス成長	18	20
マイナス成長	16	14

寄与度第1位産業 (%)

	30年度		29年度	
県	製造業	+0.3	宿泊・飲食サービス業	+0.2
市部	製造業	+0.4	建設業	+0.2
郡部	建設業	+1.2	公務	+0.2

(5) 経済成長率の推移



	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
県計	-1.0	-3.4	-1.6	0.4	0.0	-0.6	2.7	1.7	2.1	1.1	0.5	0.2
市計	-0.9	-3.4	-1.7	-0.2	0.8	-0.7	2.7	2.1	2.0	1.1	0.5	0.0
郡計	-1.8	-3.6	-0.8	3.4	-4.0	-0.1	2.9	-0.2	2.7	1.2	0.2	1.3

(単位: %)